

## 第82回病診連携委員会要録

日 時	平成29年7月31日（月）	午後7時45分
場 所	浪速区医師会	会議室
出席者	浪速区医師会	4名
	南医師会	2名
	愛染橋病院	1名
	育和会記念病院	1名
	NTT西日本病院	1名
	大手前病院	2名
	大野記念病院	2名
	四天王寺病院	1名
	思温病院	2名
	富永病院	2名
	なにわ生野病院	2名
	日生病院	2名
	朋愛病院	2名
	山本第三病院	2名
	在宅医療・介護連携相談支援室	2名
	浪速区医師会事務局	1名

今回は山本第三病院、朋愛病院から初参加の方があった。また、在宅医療・介護連携相談支援室にも参加していただいた。

### 議 題

#### 1. 第81回病診連携委員会報告について

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

#### 2. 連携病院へのアンケート結果について

各連携病院での後方支援のためのアンケート結果の御報告をいただいた。転帰においては地域連携室で把握しきれていない（日曜日退院など）病院が不明という報告であった。なお一部、アンケートの文面の意味が不明確な項目については未回答や推測での回答となった。

**愛染橋病院**：病診連携において強化したい診療科目は消化器内科の他、佐久間先生が加わってくださった循環器内科への御紹介も増えてきた。両科をお願いしたい。

**NTT西日本病院**：開放型病床数は300床となっているが0床の誤り。4月より常勤の医師が2名加わった耳鼻咽喉科と遠方からも御紹介いただいているアレルギー膠原病内科を強化したい。

**育和会記念病院**：地域包括ケア病床は院内のみで稼働。紹介元の老健、特養、グループホーム、サ高住民への逆紹介が退院の転帰として多い。新たな主治医に紹介したのは胃癌ターミナル患者の在宅診療。今後、肺癌以外の呼吸器内科（COPD）を強化したい。

**大手前病院**：救急での入院例は新たな主治医に紹介となるケースがある。

**大野記念病院**：地域包括ケア病床と療養型病床は100%稼働。老健、特養、グループホーム、サ高住民への紹介数は調整したケースだけで21件。

**思温病院**：7月1日より開放型病床5床を稼働させているが、希望があれば全病床開放可。年内に隣接地にリハビリ棟を建設。転院が必要な場合でも一度外来で受けて思温病院が

転院先を調整するので、一度連絡を。

**四天王寺病院**：新たな主治医が必要となったケースは血液内科の輸血が必要なケース。病診連携において強化したい診療科目は血液内科の他、緊急手術は対応困難であるが緩和ケアが必要な場合は外科で対応可。9月末まで外装工事中。

**富永病院**：地域包括ケア病床は院内のみで稼働。退院患者の転帰は地域連携室で把握困難。脳神経外科患者と循環器内科患者は24時間受け入れ可能。

**なにわ生野病院**：退院の転帰は療養型病床への転院が最多。病診連携において強化したい診療科目は人工関節センターの他、眼科で白内障の日帰り手術が可能となった。

**日生病院**：地域連携室での退院の転帰の把握は困難。病診連携において強化したい診療科目は脊椎外科の他、呼吸器内科・外科、腎臓内科の医師が増員された。新病院移転後は透析への対応も可。

**朋愛病院**：紹介状のない患者は元の主治医が把握困難。新たな主治医に紹介したケースはケアマネジャーがやりやすい医師への紹介だった。病診連携において強化したい診療科目は循環器内科、リハビリテーション科。

**山本第三病院**：療養型病床と回復期リハビリテーション病棟は院内のみで稼働。紹介が必要な場合は山本第一病院へ。新たな主治医が必要だったケースは家族の希望による。現在も必要に応じて消化器内科医オンコールによる緊急内視鏡を行っているが今後、強化したい。

### 3. 本会の在宅医療連携の現状について

今後も病診連携、病病連携の強化を行える地盤を作りつつ、在宅医療連携もコーディネータ事業を介して行っていく予定。

### 4. その他

#### (1) ブルーカードの登録件数

合計592件、浪速区内の医師より543件、他地区の医師から49件

使用状況 のべ件数 全例で620件、浪速区582件、他地区で38件

5月1日からの2カ月でのカード動向

計89件、新規24件、更新36件、入院6件、帰宅5件、中止2件、死亡10件、通院なし1件、かかりつけ医変更1件、登録医変更2件。

次回会議予定 平成29年9月25日(月)午後7時45分～